



〔表紙の写真〕「区の花」の紹介:左上サルビア(鶴見区)、右上スイセン(西区)、下チューリップ(神奈川区、中区) スイセン、チューリップは横浜市緑の協会、サルビアは鶴見区役所区政推進課より写真提供いただきました。

よこはま市工連



No.81

目次

新年ご挨拶	1
市工連賀詞交歓会を開催	2
写真で綴る2019年(平成31年・令和元年)	3
地域工業会会長(産連協 沼田会長)へのインタビュー	7
市工連事務局の紹介	7
市工連「令和2年度新入社員合同研修」のご案内	8
会員情報交換のページ	8
地域工業会だより	9
横浜青年経営者会だより	20
YMV(ヨコハマ・メーカーズ・ヴィレッジ)の活動紹介	21

発刊日:令和2年1月31日
 編集・発行:一般社団法人横浜市工業会連合会
 〒231-0023
 横浜市中区山下町2番地
 産業貿易センタービル2階
 TEL. 045-671-7051
 FAX. 045-671-7321
 URL: <http://www.y-shikouren.or.jp/>
 印刷: ツルミ印刷株式会社

新年ご挨拶



令和2年の 年頭に あたって

市工連名誉会長・横浜市長
林 文子

皆様が健やかに新年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。

オリンピック・パラリンピックイヤーが幕をあげ、横浜でも熱戦が繰り広げられます。国内外からのお客様をお迎えし、生み出された大きな賑わいを横浜経済の活性化にしっかりとつなげてまいります。

本年も、横浜経済を支えてくださっている企

業の皆様へのご支援に、一層力を注ぎます。今年度から新たに小規模事業者を対象とした出張相談を実施し、人手不足や事業承継などの課題解決にきめ細かに取り組んでおります。生産性向上に向けた取組をはじめ、住工混在の進む横浜で継続して操業できるよう、皆様とご一緒にさらに取組を推し進めてまいります。

昨年、日本列島を襲った台風では、甚大な被害が生じ、被害に遭われた企業の皆様の一日も早い復旧・復興に向けて、力を注いでおります。今後もあらゆる大規模災害を想定し、防災・減災に取り組んでいきます。

今年も皆様のお力添えをいただき、横浜の持続的な成長・発展に向けて力を尽くしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

横浜市長 **林 文子**



新年の ごあいさつ

市工連会長
榎本 英雄

令和2年の年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

平成の時代も31年の幕を閉じ、昨年5月「美しい調和」という意味が込められた令和の時代を迎えました。そして、令和になり初めての新年を迎えました。

世界では、平成の時代から続く米中の貿易競争をはじめとする、世界経済の混沌とした状況が続いています。また、国内でも昨年の9月と10月に100年に1度といわれる大型台風に見舞われ、金沢区の臨海部などで甚大な災害が発生し、多くの方が被災しました。

一方、中小企業が抱える問題は、少子・高齢

化に伴う労働人口の減少を背景に、人材確保、事業継承など多岐にわたり、将来に向けての懸念材料となっています。

こうした中、昨年の秋にはラグビー・ワールドカップが行われ、海外から多くの観客が訪れるとともに、日本代表の活躍により、大いに盛り上がりました。ラグビー日本代表のスローガンで流行語大賞にもなった「ONE TEAM (ワン・チーム)」という言葉がありますが、私たち市工連も地域工業会とともにワン・チームとなって、不安定な海外情勢や自然災害といった難局を乗り越えていきたいものです。

今年は56年振りに東京で二度目となるオリンピック・パラリンピックが開催されます。

私の高校は国立競技場の側にありオリンピックは高校2年生のときでした。その当時は日本が飛躍するスタートでありました。私たちは、今回のオリンピックの年を再び飛躍に繋がるような年にしたいと願っております。本年も引き続きよろしくご協力をお願いいたします。

市工連賀詞交歓会を開催

令和2年1月10日(金)午後4時からホテル横浜ガーデンにおいて市工連賀詞交歓会が開催されました。賀詞交歓会に先立ち、「すぐれたアイデア提案者」表彰式が行われました。榎本会長からは、横浜のものづくりを支える被表彰者の皆さんへの想いが伝えられました。

賀詞交歓会では、榎本会長の挨拶の後、名誉会長である林横浜市長から、市工連に対する応援メッセージをいただきました。

多くの会員の皆様に出席いただき、ありがとうございました。



林経済局長、榎本市工連会長と被表彰者の皆様

「すぐれたアイデア提案者表彰」被表彰者

(50音順・敬称略)

企業名	氏名	アイデアの名称
海洋電子工業株式会社	小高 宏教	報告書作成作業の簡略化
	船田 健太	新規構成品修理(LDプレイヤー)の試験・調整用作業台作成
株式会社グリーン	安廣 真吾	鉄屑回収振動ベルトコンベア
港南テクニクス株式会社	東海林 浩	非常用電源切替盤の自動検査装置の開発・製作
小林商工株式会社	高橋 慎吾	現場が見える革新的なシステム(VFRS)
竹澤工業株式会社	柳澤 友希	管束フレームのリブ仮付け治具による工数削減
横浜ステンレス工業株式会社	石井 哲郎	分銅式刻印機の開発
株式会社吉岡精工	鈴木 大輔	ポーラスチャック洗浄装置の開発



写真で綴る2019年(平成31年・令和元年)

テクニカルショウ ヨコハマ2019

2月6日～8日

パシフィコ横浜

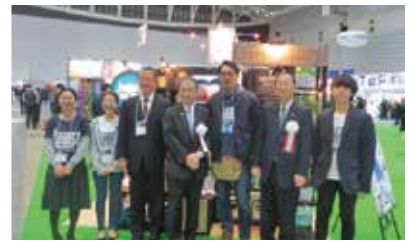
展示ホールA・B・C

新技術・新製品発表、販路拡大、ニーズ把握、新規取引獲得、技術の交流、情報の発信・収集・交換の場として開催。商談につながったとの声も聞かれました。

入場者 35,354人
参加企業 806社
出展小間数 643小間

よこはまものづくりゾーン

出展企業 84社



企業紹介フェア

2月7日

パシフィコ横浜

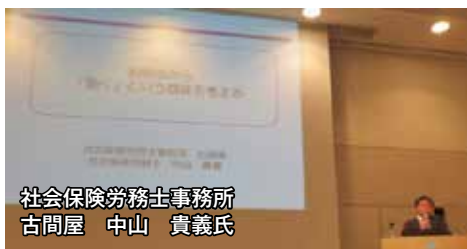
展示ホール アネックスホール

県内の高校生を対象に中小企業や製造業に対する理解を深めるため、中小企業経営者による講演とテクニカルショウヨコハマ見学会を実施。高校生も講師のブースなどで熱心に質問していました。

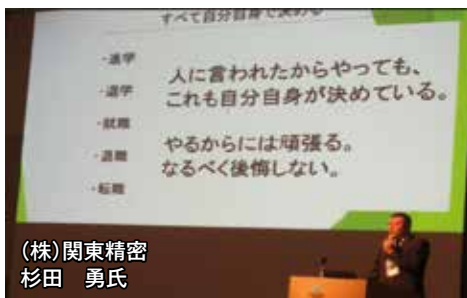
【協力企業】

社会保険労務士事務所 古間屋
株式会社関東精密

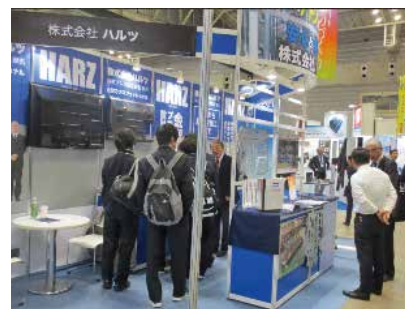
参加者 県立商工高等学校 1年生 240人



社会保険労務士事務所
古間屋 中山 貴義氏



(株)関東精密
杉田 勇氏



新入社員合同研修

4月15日～16日

帆船日本丸・同訓練センター

講義やグループワークによって、新入社員に必要なマナー等を学ぶとともに、帆船日本丸でなければできない体験研修を通してチームワークの重要性を体感し、協調性、チャレンジ精神を養います。

参加者 12社 36人
(男子 27人)
(女子 9人)



出前講座・工場見学

5月29日

【協力企業】

株式会社山喜
株式会社景泉機器
株式会社ハルツ

横浜金沢産業連絡協議会の会員企業にご協力いただき、経営者から中小企業で働くことや求める人材について話を聞いた後、工場見学を行いました。

参加者 県立東部総合職業技術校 55人



学校と企業の 就職に関する懇談会

6月11日

神奈川中小企業センター

市工連会員企業と高等学校等の進路指導担当教諭にご参加いただき、生徒の地元企業への就職を図ります。多くの学校、企業が今後もこの懇談会に出席したいというアンケート結果でした。

参加企業 84社

参加校 17校



定時総会

6月24日

ホテル横浜ガーデン

各地域工業会等の会長により、事業報告、決算報告などが審議され承認されました。その後、役員懇親会が開催されました。



受・発注商談会 in 川崎 2019

9月19日

川崎市産業振興会館

新事業展開や新製品開発、受発注機会の拡大を支援するため、商談会を開催しました。

参加企業 277社

発注 59社(うち市内企業20社)

受注 218社(うち市内企業58社)

商談件数 913件



横浜市へ予算要望書提出

10月23日
市長公舎

榎本市工連会長のほか、各地域工業会等の会長など代表者で市長公舎を訪問し、中小企業の現状と課題について取りまとめた「令和2年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」を榎本会長から林文字横浜市長に手渡しました。



外国人就職応援フェア

10月28日
新都市ホール

横浜で就職を希望する外国人と外国人の採用に興味がある市内中小企業との交流会として、「合同企業説明会」が開催され、市工連会員企業も参加しました。

参加企業 39社
参加者 外国人259人



出前講座・工場見学

10月31日
【協力企業】

三宝精機工業株式会社
日本貿易印刷株式会社

戸塚泉栄工業会の会員企業の工場を見学し、経営者から中小企業で働くことや求める人材についてなど話を聞いた後、工場を見学しました。

参加者
県立大楠高等学校
1年生他 47人



三宝精機工業(株)
金子 一彦氏



日本貿易印刷(株)
伊藤 知之氏



出前講座・工場見学

11月8日

【協力企業】

株式会社スリーハイ

横浜北工業会の会員企業の協力で、高校の教室で出前講座を実施後、工場を訪問し、見学しました。

参加者

県立翠嵐高等学校(定時制)

1年生他 50人



(株)スリーハイ 男澤 誠氏



施設見学会

11月14日

川井浄水場(セラロッカ)

会員経営者同士が集まり情報交換する機会をつくるために、施設見学会と懇親会を開催しました。

参加者 23人



出前講座・工場見学

11月27日

【協力企業】

横浜高周波工業株式会社

東洋測器株式会社

横浜北工業会の会員企業の協力で、経営者から中小企業で働くことや求める人材について話を聞いた後、工場を見学しました。

参加者

県立東部総合職業技術校 25人



横浜高周波工業(株)
佐藤 信夫氏



東洋測器(株)
串田 健司氏



地域工業会会長インタビュー

横浜金沢産業連絡協議会会長 沼田 昭司

幼少時代について

出身は保土ヶ谷区、勉強はそっちのけで毎日のように外に遊びに出かけ、エネルギー満ち溢れる少年時代でした。そのヤンチャ振りは有名で、昔からの友人からは、「本当にヤンチャで手をつけられないほどの悪ガキだった」と、いまだに言われるほど。その後、そのあり余る元気を存分に発揮できる場となったのは、高校の時に出会ったラグビーでした。

ラグビーについて

仲間のために身体を張る、そんなラグビーの自己犠牲の精神「one for all, all for one」に魅了され、仕事をする上でも常に意識していることは、「人と人との繋がり」、「お互いに支えあうこと」です。

現在は横浜市ラグビーフットボール協会の会長として、ラグビーの普及に努め、休日には、小学校のラグビースクールでコーチをすることもあります。

会社の経営について

現在、株式会社沼田商会の代表取締役社長として、継続・安定・常に向上心を持ち合わせた企業を目指しています。

地球温暖化対策や先端技術は、新素材の発掘、加工技術の進歩と変革を求めています。いまや切削加工では、サブミクロンの精度、100オングストロームの平面度・仕上げ面の粗さまで可能

になりました。

弊社はこのような時代の変化に対応し、技術と人材を育成し、大きく変わるユーザーのニーズにこたえられるよう、また、国内では最大規模を誇る金沢産業団地に立地することを生かし、100年企業を目指しています。

横浜金沢産業連絡協議会について

2019年9月と10月には台風15号・19号の来襲により、ここ金沢産業団地立地企業も未曾有の被害をこうむったことはご承知のとおりです。現在では被災企業の自助・共助と横浜市をはじめとする行政機関等の支援策の実施により、復旧も徐々に進んでいる状況となっています。

「企業と企業(仲間)との絆が、チームを強くする」ラグビー精神を基にした会長職を活かし、金沢産業団地の企業がスクラムを組むことで、産業団地の更なる発展・飛躍を目指し前進してまいります。



◆市工連事務局の紹介◆



平成31年4月1日から植松 正課長(産貿ホール担当)が加わり、新たな体制となっています。今後ともよろしくお願いいたします。

前列左から森久保総務部長、植松課長
後列左から伊澤主事、川崎専務理事(事務局長)、
齋藤課長

市工連 「令和2年度新入社員合同研修」のご案内

市工連では新入社員の皆さんの仕事に対する心構えを学び、協調性やチャレンジ精神を養うために「新入社員合同研修」を実施します。

研修では、講義とグループ討議(ビジネスマナー、電話応対、報・連・相等)や帆船日本丸でなければならない体験研修(マスト登り、カッター訓練等)を行います。この研修を通して企業人としての自覚と責任感を引き出し組織の新しい力を育てます。



日 時: 令和2年4月16日(木)～4月17日(金) 1泊2日
 会 場: 帆船日本丸・同訓練センター(横浜市西区みなとみらい2-1-1)
 定 員: 56名(先着順)
 受 講 料: 31,000円(消費税込み)
 お申込み: (一社)横浜市工業会連合会 TEL.045-671-7051/FAX.045-671-7321
 担 当: 斎藤 (Email:soumu4@y-shikouren.or.jp)
 ※申込書は市工連ホームページ(<http://www.y-shikouren.or.jp/>)からダウンロードしてください。



● 会員情報交換ページ

神奈川県民のための

火災共済

～組合員の皆様が火災等にあつたとき、互いに助け合う制度です～
 神奈川県にお住まいの方・お勤めの方なら
 どなたでも加入いただけます!

火災・水漏れ・落雷などから大切な建物と家財を守る火災共済

■ 例: 700万円の保障での年間掛金

マンション等
耐火専用住宅 **2,800円**

木造・準耐火等
非耐火専用住宅 **5,600円**

※ 新規加入の際、100円の出資金が必要です。



横浜市民共済生活協同組合

横浜市中区日本大通58 日本大通ビル8階

※ 広告内容は概要のため、詳細はお問い合わせください。



0120-073-203

受付時間 月～金/8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)



ツルミ印刷株式会社

Economy and Ecology

〒230-0034 横浜市鶴見区寛政町9-4
 TEL.045(508)6686 FAX.045(508)7955
 E-mail:trm@tsurumi-p.co.jp
<http://www.tsurumi-p.co.jp>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちツルミ印刷は17のゴールに向かいます



寺嶋会長

鶴見区工業会



(鶴見区)

長嶺事務局長

平成30年度 合同地区懇談会の開催

平成31年2月26日(火)、(株)松尾工務店5階講堂において参加者49人で開催。第1部では、講師に日蓮宗・僧正 松本 慈恵様をお招きし、「現代をどう生きるか～仏教における悩み解消法～」の演題でご講演いただきました。第2部では、講師を交え参加者相互の懇親会が行われました。



第37回通常総会・令和元年度市長表彰式の開催

令和元年5月21日(火)、ホテル横浜キャメロットジャパンにおいて開催。通常総会後の市長表彰の受賞者は4人、引き続いて行われた懇親会は総勢99人で、福引抽選会やカラオケもあり盛大に行われました。



令和元年度 オープン経営セミナーの開催

9月12日(木)11時、大本山總持寺において参加者43人で開催。鶴見区工業会・横浜商工会議所鶴見支部・(公社)鶴見法人会の三団体共催による開催で、参禅室長・花和浩明 老師による法話、精進料理での昼食、境内主要施設を敷地内の板敷回廊を歩きながらの参観の3部構成で行われました。



第37回ボウリング大会の開催

10月4日(金)、川崎グランドボウルで開催。今回は、15社28チーム84人(うち女性19人)の選手のほか応援・お手伝いを含む、総勢103人での開催となりました。2ゲーム競技の結果、鹿島建設(株)横浜支店が初めて団体優勝を飾りました。



令和元年度 日帰り研修の実施

11月14日(木)、参加者34人で開催。1日をかけ①鶴見区臨海部の「北部汚泥資源化センター」、②JR鶴見線・弁天橋駅前の「AGCモノづくり研修センター1階・展示コーナー」、③「羽田空港・JAL工場」、④「羽田空港・JAL安全啓発センター」と盛り沢山4か所を見学、最後にキンビール(株)横浜工場「レストラン ピアポート」で懇親会が行われました。





桐ヶ谷会長

神奈川県工業会

(神奈川県)



江藤事務局長

【令和元年の活動】

賀詞交歓会(神奈川県工業会会報発行) 1月17日

ホテル横浜キャメロットジャパンにて

役員・理事・若手の交流会 2月15日

昭和電工(株)大島クラブにて

研修会 3月27日

「京浜臨海部再編整備マスタープランについて」

横浜信用金庫大口支店会議室にて

横浜市経済局2019年度予算説明会 4月24日

横浜信用金庫大口支店会議室にて

第74回総会・懇親会 6月7日

ホテル横浜キャメロットジャパンにて

ゴルフ大会復活 6月12日、11月7日

磯子カンツリークラブにて2回開催



暑気払い 8月22日

キリンビアビレッジレストランピアポートにて85名の参加で大賑わいの楽しい会となりました。



県外視察・研修会 10月4日～5日

昭和電工(株)大町事業所・青木発電所にて内容の濃い研修の後は、美味しい食事、黒部ダムからの素晴らしい景色を楽しみ交流を深めました。



2019年忘年会 11月21日

東天閣子安店にて開催 26名参加

青年部の活動 通年

定例会、社長訪問事業、海上クルージングなどで交流し連携を深めています。メンバー募集中です

ホームページをリニューアル 12月運用開始

URL:<http://kanagawa-ind-assoc.org/>

動きのある見やすいホームページに一新!

顕彰 11月22日 第68回横浜文化賞

横浜市の最高顕彰である横浜文化賞を会員企業のゴールデン文具(株)取締役会長平出揚治様が受賞されました。おめでとうございます。

【新会員の紹介】

・株式会社ツアーステージ(不動産業)4月

代表取締役 齋藤裕一様

・横浜電子株式会社(製造業)4月

代表取締役 神田一弘様

・横浜市民共済生活協同組合(火災共済)5月

東神奈川普及サービスセンター所長 澤田芳美様

・株式会社横浜ビール(製造業)2020年1月

代表取締役 高橋智己様

ご加入ありがとうございました。



加藤会長

みなと工業会

(西区・中区)



菊地事務局長

【納涼事業】8月7日(水)

51名

令和元年度の納涼事業は8月7日(水)18時から、HOTEL THE KNOT YOKOHAMA



にて、「笑顔は天の花」と題して、人気作家 神渡良平氏をゲストに開催。講演後納涼パーティーで懇親を深めました。

【経済局との意見交換】8月29日(水) 17名

関内中央ビル経済局会議室において、経済局より、高柳ものづくり支援課長他7名、当会より花



本政策部会長以下10名が出席し、中小企業対策を中心に5項目を提言し意見交換を行いました。

【見学会】10月9日(水) 26名

晴天に恵まれた10月9日(水)に「ナスラック鎌倉工場」「大倉陶園本社」を見学し、懇親会を大珍樓新館にて行ないました。



【経営者セミナー&忘年会】12月5日(木)48名

12月5日(木)17時30分から、横浜で活躍されている五大路子氏をお招きし「夢を紡いで～自分らしく輝くとは～」と題して講演いただき、忘年会で1年の疲れを癒やしました。



【今期の異業種交流サロン】第136回～第142回

日頃の経営課題についての意見交換や働き方改革に向けた各種制度の勉強会などを中心に、6名～8名の出席で、朝食会の翌日に開催してきました。

【今期の朝食会】

第314回 4月16日(火) 42名

「2019年度横浜市予算の特徴と経済局2019年度重点施策について」

経済局ものづくり支援課長 高柳 友紀氏

第315回 5月15日(火) 43名

「『競合』する米国と中国」

防衛省防衛研究所主任研究官 増田 雅之氏

第316回 6月19日(火) 40名

「～企業を永続させるために～社員がイキイキと働くための条件」

牧野経営労務

コンサルタント

所長

牧野 正雄氏



第317回 7月16日(火) 41名

「雇用機会提供団体からの情報提供」

横浜システム工学院専門学校、(公財)産業雇用センター、横浜公共職業安定所、横浜市就職サポートセンターから情報提供いただきました。

第318回 9月17日(火) (IDECと共催) 40名

「外国人労働者雇用に関する基礎知識」

社会保険労務士法人マーシャルコンサルティング

上岡 由美子氏

第319回 10月16日(火) 45名

「横浜の地域開発プロジェクト総覧」

(株)浜銀総合研究所調査部特任研究員 八木 正幸氏

第320回 11月19日(火) 53名

「『社長雑感』～わが人生・佐々木鉄工所とみなと工業会～」

(株)佐々木鉄工所

会長

佐々木 俊輔氏





斎藤会長

南事業会



(南区)

山下事務局長

新年賀詞交換会

今年も斎藤会長のご挨拶から始まった平成31年賀詞交歓会です。



昨年は、残念ながら中止になった桜まつりから教訓を得たり、工業会の交流会活動から見聞を深めたりと、収穫の年だったそうです。今年はその「経験を活かしたい」と抱負を述べられ、さらに「南事業会も若々しく遊び心も交えながら、地域の活動に積極的に参加していきましょう」と呼びかけました。そして、皆さんに「福」の多いことを祈念されました。

平成最後の桜まつり

第29回南区桜まつりが3月31日(日)10時から開催されました。前日の夜に雨が降り当日の天候が心配な中、翌日になると素晴らしい天候の中で開催されました。



昨年は葉桜が目立っておりましたが、今年は4月7日(日)に横浜市議員選があるため、1週間前倒しでの開催が功を奏して満開の中での開催となり、無事に終了しました。

第37回通常総会

5月29日(水)、年号が平成から令和に変わり初めての通常総会が執り行われました。議案は第一号議案から第五号議案まで滞りなく進み、皆様の承認を得ることができました。

各委員会の報告では、委員長をはじめ各委員が知恵を絞り、会員の皆様と一緒に盛り上げられる企画や計画を進めています。また新規の会員さんの獲得にも努力しています。

これからも会員の皆様に満足していただける魅力ある南事業会を目指します。

第44回南まつり開催

2年続けて中止?と誰もが思っていたことでしょう。7月26日に熱帯低気圧が台風6号に変わり、その後、台風6号は27日午前7時ごろ三重県南部に令和初上陸。午後3時には熱帯低気圧に変わりましたが、関東甲信越へ大雨を降らせる予報があったため、27日(土)の南まつりは中止となりました。この時期は各地で開催されるイベントの中止が相次いで決まったようです。そして、翌28日(日)の朝になっても雨は残っていましたが、予報では午前9時までには雨が上がり、その後は日が差すとのこと。予報どおり無事開催する運びとなりました。



子供たちに大人気のラムネ



稲村会長

港南区工業会



(港南区)

志澤事務局長

第38回通常総会

5月23日(木)、上大岡のウィリング横浜において開催されました。恒例の高梨副会長をはじめとする方々によるお茶のおもてなしがなされ、ご来賓の皆様にご好評をいただきました。表彰式では、優良工業従事者市長表彰1名、会長表彰5名への表彰状と記念品の授与がなされました。懇親会では新入会員2社のご紹介もあり、楽しい懇親のなか盛会のうちに閉会となりました。



港南区制50周年事業「おとなの体力測定」

11月2日(土)、港南区制50周年記念行事に併せて“おとなの体力測定”イベントを開催しました。昔懐かしいスポーツテストを行い、自身の体力年齢を把握し、健康状態や生活習慣を見直すきっかけにしていきたいという思いで企画しました。当日は大勢の地域の方、また、幅広い年齢層の方々にご参加いただきました。同日開催された「こうなん子どもゆめワールド」では、焼き鳥の販売で出店しました。地域に根ざした当会の活動を知っていただく機会になりました。



港南区ひまわり生活体験交流事業

港南区ひまわり交流協会による宮城県大崎市三本木との交流事業が行われました。当会も一所属団体として、8月5日(月)、キャンプファイヤースタッフとして協力をしました。



自然を楽しむ会

11月30日(土)、参加者13名で、JR石川町駅から、みなとみらいを目指し出発。天候にも恵まれ都会の中の自然を満喫した1日でした。



ボウリング大会

9月27日(金)、今回で65回目を数えるボウリング大会を開催しました。毎年多くの会員企業様の従業員の方々にご参加をいただいております。今大会は初めて参加される方が多かったです。和気あいあいとした雰囲気、交流を深める良い機会になったと思います。



忘年会

11月30日(土)、横浜みなとみらい万葉倶楽部にて港南区制50周年事業のお疲れ会を兼ねた大忘年会を開催しました。自然を楽しむ会に参加していた方々と合流し温泉に入り、リラックスした雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました。

ゴルフ大会

133回大会、134回大会を開催しました。
6月25日(火)磯子カンツリークラブ
10月30日(水)南総カントリークラブ



遠藤会長

横浜西部工業会

(保土ヶ谷区・旭区・瀬谷区)



飯島事務局長

第20回総会と設立20周年記念式典を開催

第20回記念総会が、5月20日(月)午後2時30分から、ホテルキャメロットで開催されました。総会は、栗原理事(保土ヶ谷支部)の司会で、遠藤昇会長の挨拶の後、開会となり、会則にもとづき遠藤会長が議長席に着き議事を進行しました。



永年勤続表彰式の後、ホテル5階に会場を移し、設立20周年記念式典が坂本理事(旭支部)の司会で進められました。冒頭、初代会長である西澤様より、設立当初、並々ならぬ苦労があったこと、会員皆さんの努力により今日があることなどを話されました。



次に記念公演会として、真打の噺家 金原亭世之介様に「あいさつのバカ力」と題して落語を一席、その後、実演を交えて分かりやすく挨拶の効果を教わりました。

経営者セミナーを開催

9月12日(木)JA二俣川支店会議室で、冒頭、遠藤昇会長からセミナー開催の趣旨及びテーマ、講師の選定の経緯を交えての挨拶があり、続いて司会の井上博海事業振興部会長より講師紹介がなされ、講演に移りました。

「企業が持続するために～課題解決の手法は随所にあり～」と題して、経営アドバイザーの柳沢剛氏により、身近なところから挑戦する種はいくつもあるとの詳細説明、日常業務の中から生



まれたアイデア商品の事例等の話を伺いました。

講演終了後、西澤清商工会議所西部支部副支部長が謝辞を述べられるとともに、閉会の挨拶をされ、午後4時45分に終了しました。

親睦研修旅行

10月18日(金)、日帰りで相模原及び横浜市内へ研修旅行に行きました。まずは、当会会員の東洋



ガラス機械(株)横浜工場と相模原にあるJAXA宇宙科学研究所を見学しました。横浜工場では、ビンやペットボトルの金型の生産について、現場説明を交えて工場内見学を行いました。

相模原にあるJAXA宇宙科学研究所では、参加者全員、今が旬の「はやぶさ2」の模型や展示物に関心もって見学しました。



地域施設見学会を開催

11月14日(木)市工連主催の施設見学会に合流し開催しました。旭区の川井浄水場「セラロック」は、その名の由来となったセラミック製の膜モジュールを使用した日本最大級の膜ろ過施設で、日量172,800立方メートルの水道水を作る最新鋭の浄水場として平成26年4月から運用を開始しました。





長谷川会長

磯子事業会



(磯子区)

齊藤事務局長

第43回磯子まつりに参加

9月29日(日)、「磯子まつり」(磯子区主催)に参加しました。

区役所前のオープニングセレモニーで、参加した区民は風船を一齐に大空へ飛ばし、お祭りの開催を喜び合いました。

磯子産業道路沿いに数多くの模擬店が立ち並ぶ中、磯子事業会も会員会社のノベルティやポップコーンを無料で提供し、沿道の盛上げに一役買いました。



区の包括連携協定に基づき、4年連続して参加しています。



事業人のつどいを開催

11月18日(月)、日本パラリンピック委員会の高橋秀文副委員長をお招きし「東京2020パラリンピックの成功に向けて～共生社会実現への道～」と題して講演会を開催しました。高橋氏は、パラスポーツの基本理念や意義、競技などを紹介し、さらに「障害の有無や男女、年齢、国籍に関係なく、一人ひとりが個性を発揮して生きられる社会が共生社会だ。障害も一つの個性であり、『みんな違っていいじゃん』を続けていかなければならない」と強調。最後に「2の22乗」という言葉を掲げ、「一人が二人にパラリンピックを見に行こうと22回繰り返して伝えれば419万人になり、全競技会場が満員になる。平日の午前中に開催される名前も聞いたことのない競技のチケット購入が『正しい』買い方だ」と参加協力を呼びかけました。

磯子区との包括連携協定に基づき 横浜マラソン沿道清掃を実施

横浜マラソン(11月10日(日)開催)に参加するランナーが気持ち良く走れるよう、開催直前の11月7日(木)に沿道を清掃しました。磯子事業会から32社137名が参加し、日清オイリオ横浜事業場前から根岸駅前交差点までと、聖天川東側交差点までに分かれて実施。磯子事業会と磯子





沼田会長

(一社)横浜金沢産業連絡協議会

(金沢区)



木村事務局長

今回は横浜金沢産業連絡協議会の監事でもある雨宮自動車工業株式会社 代表取締役小宮里子様にご寄稿いただきました。



「台風15号で被災して」

令和元年(2019)9月9日に関東全域を直撃した台風15号により、各地で大きな被害を受けました。未だ復旧作業が行われており、厳しい状況下にある方がいらっしゃいます。まずは心からお見舞い申し上げます。

LINKAI横浜金沢においては、高波により幸浦・福浦地区の護岸が崩壊し、広範囲の企業様が水災に見舞われました。弊社も福浦に位置し、最も被害の大きい企業の一つです。

弊社は、昭和39年に南区で自動車整備工場を開業し、昭和62年にこの産業団地に進出しました。およそ30年間、特に大きな天災に見舞われることなく、各地の天災を対岸の火事のように感じていたように思います。

沿岸部から2列目にあたる弊社の被害は甚大で、冠水により全設備が壊滅的な状況となりました。9月9日の早朝に出社した際には潮は引いており、状況把握をするのに少し時間を要しました。シャッターは壊れ、電気がダウンした暗い工場の中で、潮と油の匂い、なぎ倒された機材を見て、これはただごとではないと感じ、護岸崩壊を目にした時に初めて、これは甚大な水災なのだと思えることができました。

できることから始めようという前向きな社員の姿勢、迅速な復旧に尽力して下さった業者の皆様、地域の方々にたくさんのご協力、ご支援をいただき早い段階で事業を再開することができました。

横浜金沢産業連絡協議会においては、沼田会長、木村事務局長のご尽力により災害から3日目

には産業振興センター内に「特別経営相談窓口」が設置されました。

その後も「罹災証明受付」「台風15号対策特別資金」などの窓口を設置していただいたことは、対応に追われる被災者にとって本当に有難いことでした。災害ごみの回収用フレコンパック、ビニール袋、ブルーシートなどの配布、災害廃棄物回収の行政への働きかけなど多大なるご支援を賜りましたことに心より感謝しております。

9月18日には菅内閣官房長官、林文子横浜市長をはじめとした視察・意見交換会も執り行われ、被害状況の把握と被災者の要望のヒアリングをしていただきました。ご支援いただけるとの力強いお言葉を賜りました時には、自身の胸の中で再建を固く誓いました。また、弊社には黒岩神奈川県知事が視察にお越しになり、状況把握、情報収集を熱心にしていただきました。

台風15号被害からの復旧復興にあたり、本当に多くの方々から多大なるご支援を賜りましたことに心より感謝し、このご恩を忘れることなく、社業に邁進してまいり所存です。2020年には完全再建、更なる進化を目指して、えがくみらいLINKAI横浜金沢の魅力を発信してまいります。





榎本理事長

横浜市金沢団地協同組合

(金沢区)



國場事務局長

横浜市金沢団地組合ニュース第100号の発行

昭和47年(1972)に組合設立後、昭和49年、組合企業の連携を図り、行政との調整をするために、「協同組合連絡報」が発刊されたのが、組合ニュースの始まりです。

昭和51年12月15日「協同組合連絡報」に代わって「組合ニュース」第1号が創刊され、組合ニュースの歴史が始まりました。



平成14年3月、第49号からA4版に書式が変更され、表紙に富士山の写真を掲載し、平成17年3月、第54号から一部をカラーとして、さらに親しめる「組合ニュース」となりました。また表紙に山口武夫氏の絵画を掲載することになりました。

そして令和元年12月、記念すべき100号の発行となりました。

また、令和元年の「LINKAI横浜金沢」地区では、賑わいの施設の進出、巨大物流施設の建設、交通道路網の充実、そして団地設立以来初めての甚大な台風被害・復旧等さまざまな事柄、事件がおきました。

これらを記録するとともに、LINKAI横浜金沢が創設された頃を振り返りながら、現在の状況を共有するため、100号別冊「LINKAI横浜金沢」を発行しました。



平成元年度鳥浜経営研究会研修

令和元年11月22日、組合の若手経営者等のグループ「鳥浜経営研究会」が、豊洲市場及び陸上自衛隊朝霞駐屯地で研修を行いました。

豊洲市場は、(株)佃権金子社長及び市場関連事業者等協議会のご協力により、特別な見学として一般に開放していない仲卸売市場内の現場を見て回りました。

豊洲市場の規模に圧倒され、活気に満ちた売場を見学することができました。

埼玉県和光市にある「陸上自衛隊展示場」では、戦車、ヘリコプターの見学及び旧陸軍予備士官学校にまつわる展示品等の資料館「振武臺記念館」を見学し、当時の若い士官候補生及び皇族の生活を垣間見ることができました。



鳥浜冬の風物詩「バス通り花壇活動」始まる

11月21日から、今回15年目となる鳥浜冬の風物詩、「バス通り花壇活動」が、一斉に始まりました。

今年も、3,600本の「よくさくスミレ」と「ノースポール」の花の苗が配布され、企業の皆さんの手により、あちらこちらで植えられています。

来春も働く人々へ憩いを与えてくれることでしょう。





秋本会長

(一社)横浜北工業会

(港北区・緑区・青葉区・都筑区)



長島事務局長

横浜北工業会の持続的発展を目指して

【令和元年度事業の推進】

北工業会は、事業の立案や執行管理を行う総務、組織広報、事業企画、工業振興、厚生 の5委員会があり、理事は必ずいずれかの委員会に所属し、予算編成期、年度中間期に工業会の運営方針の共有や具体的事業を検討しています。

今年度は、月1回の定例勉強会(ランチョンミーティング)が12月に50回を迎えました。立上げ当初の平成27年7月は新しい試みだったので、テーマ選定や参加者などから継続できるか懸念しましたが、最近 は時宜に応じたテーマの要望や参加者も15人程度に安定し定着した感があります。また中小企業経営者の塾的な月1回連続5回の夕方からの経営セミナーも11月に開始しました。

12月には新たに支部懇談会の開催を試行し、年間を通じて様々な形での交流の場を増やすことにより、少しずつでも今まで参加していただけなかった会員企業の掘起こしとなって、工業会として一体感が高まることを目指しています。

以下令和元年度事業の実施状況を紹介します。

①会員企業との連絡方法の再構築

平成31年3月に実施した会員企業への連絡方法及び窓口の調査は、概ね90社程度がメールでの連絡を望んでいます。一方でファックスでの連絡も130社が希望している結果となりました。

今年度は、指定された担当者の方あてにメール、ファックスをすることで、これまで以上に意思疎通を図ることができるようになると考えています

②ランチョンミーティング

(令和元年度の実施状況)

4月:第1回【中小企業の支援策と活用を考える】

5月:第2回【人材不足の時代に中小企業のできること】

5月:第3回神奈川法人会との合同研修

【真田家14代当主に経営視点を学ぶ】

6月:第4回【事業承継に備えるために その1】

7月:第5回【外国人人材を雇用するために】

8月:第6回【収益力を向上させる生産管理・職場改善の進め方Ⅱ】

9月:第7回【新製品・新事業をゼロから生み出す】

10月:第8回【事業承継に備えるために その2 親族継承の課題】

11月:第9回【セクハラ・パワハラを考える】

12月:第10回【台湾、中国、東アジア、欧米の現状】

2月:第11回【障害者雇用を考える】

3月:第12回【がん予防と検診について】



③経営コンサル小池浩二氏の5回特別セミナー

今回初めての経営コンサルタントによる経営者セミナーでしたが、参加者は少ないものの経営者の方々の経験や問題点などをお聞きでき、また専門家のそれに対するご意見や改善案の提案などお聞きし、皆で議論しそれぞれに考える、経営面に特化しているだけにランチョンミーティングとも違う面白さがありました。





黒田会長

戸塚泉栄工業会

(戸塚区・泉区・栄区)



木村事務局長

「未来づくりプロジェクト実行委員会」の活動紹介

未来づくり委員会は、当会のコンセプトである「もの」づくりは「ひと」づくり、「まち」づくりから「未来」づくりと活動を進化させ、さらなる地域の活性化・魅力創出につなげるため、若手経営者が中心となり、2018年に発足いたしました。同委員会の将来像としては、未来が「ワクワク」・「イキイキ」としたまちづくりを目指しており、若者が「面白そうだから行ってみよう!」、「このまちで働きたいな!」、「この町で住んでみたいな!」と思ってもらえたり、また「このまちで起業したい!」とチャレンジしたくなる「まち」を目指していきます。目指すべき将来像の実現に向け、現在2つの事業を行っています。

1 会員企業PR事業～未来へのバトン～

魅力ある街の要素のひとつである企業の魅力を発信していくものです。

会員企業への訪問取材を行い、当会ホームページ上に記事を掲載し各方面に情報発信しています。

未来的視点で地域やモノづくりへの思いなどの物語性に着目し、代表者の生の声をお届けするよう心がけております。

2018年は会員企業10社の他、当会の活動にご協力いただいている戸塚・泉・栄区の区長にも取材させていただきました。

本年度も引き続き会員企業への取材を行い、広く情報発信していく予定です。



2 企業と地域の橋わたし事業～未来への架け橋～

地域課題解決に向けた活動をしている公益団体を通して、地域で暮らす方々のニーズや課題を収集し、地域貢献をしたい会員企業との橋渡しをしていくものです。まずは、会員企業の地

域貢献活動の実態を把握するために、2018年10月に会員アンケート調査の実施しました。その結果、95%の企業が地域貢献活動に関心をもっていること、また、現在は地域貢献活動を行っていない企業のうち、92%と大多数が「今後は地域貢献活動に取り組んでいきたい」との回答を得ました。

一方で、「貢献活動を行いたいが、地域のニーズや課題が分からない」、また「どんな地域貢献活動をすればいいのか分からない」といったご意見が多数ありました。

そこで、同委員会として、同年11月社会福祉協議会主催の戸塚区内18地域の地区社会福祉協議会などの代表者が集まる連絡会に出席し、地域の生の声を伺い、地域のニーズや課題および企業に協力を要請したいことを明らかにしました。



本年度は、昨年度行った情報収集をもとに、地域のニーズや課題および要請に対して会員企業が具体的にどのような協力ができるのか、アンケート調査を実施します。そして、その結果をもとに、公益団体と連携して地域から企業に対する協力要請がスムーズにできるような仕組みづくりを行う予定です。

あわせて会員企業の地域貢献活動の一環として、専門的な知識、技術、技能や特技・趣味などを持つ従業員を「人財」として当会が管理するデータベースに登録してもらい、当会ホームページ上に公開し、セミナーなど地域からの派遣要請に応える活動も新たに始める予定です。

会員企業の魅力を広くPRしていくとともに、地域の公益団体などと更に連携を深め、よりスピーディーかつ、きめ細やかな橋渡しを実現させ、「ワクワク」「イキイキ」とした豊かな地域の未来の実現に向け役立てていきたいです。



横浜青年経営者会

定例会 1

6月21日に「3分で伝える自社の魅力」と題し会員企業から18社を選び3グループに分け、自社の取り組みなどを各社3分の持ち時間で発表していただきました。各社それぞれの成功や苦勞、ユニークな方法などを発表しました。制限時間の3分以内でまとめることが難しい所もあったようですが、発表後も活発な意見が飛び交い、タイトル通り魅力あふれる発表会になりました。



家族親睦会

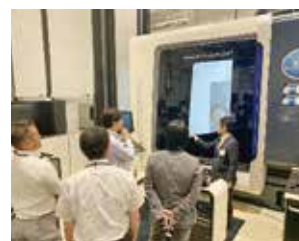
7月13日に「横浜スパークリングトワイライト」に合わせてホテルメルパルク横浜で開催しました。ここ数年、毎年最高動員数を更新しておりますが、今回も209名の参加人数となり、大きな盛り上がりを見せました。今年はバルーンアーティストともものまね芸人さんを招き、お子様はもちろんのこと、大人も壇上に上がり参加者全員が笑顔になりました。ガーデンチャペルで見ると迫力満点で参加者一同、大満足。その後に行われた恒例の抽選会も大変な盛り上がりで笑顔の絶えない一日となりました。



定例会 2

9月10日に「生産財メーカーからみた2030年の世界の製造業について」と題し、DMG森精機東京グローバルヘッドクォーターで講演会とショールーム見学を行いました。森社長の入社経緯や苦勞話、日本人とドイツ人の気質の違いや、顧客との向き合い方、入社してから20年間の業績の変化、データに裏付けされた分析など様々なことを拝聴。講演終了後の質問も丁寧に対応していただき、我々への助言を交えてお答えいただきました。

5千億円の売上げのある企業の社長の話は雲の上の話ではなく、正確なデータ管理と顧客目線を忘れないという森社長の実直な経営観で成り立っていることを感じさせる、参加者全員の心に響く内容でした。



YMVの活動紹介

「ヨコハマ・メーカーズ・ヴィレッジの3年間の歩みとこれからの取組み」

YOKOHAMA MAKERS VILLAGE(通称: YMV)は横浜青年経営者会の会員から有志を募り発足したものづくりブランドです。メンバー10社の専門分野に特化した高い技術力とデザイナーとの連携により、いままでにない質の高い製品を提供していきます。

この高い志のもと、まず最初に目指した活動はミラノサローネへの出展でした。ミラノサローネとは毎年4月にミラノで開催されるデザインの世界最高峰の展示会です。今までにない取り組みは、各社の技術やノウハウを活かしながら、且つ横浜企業経営支援財団のサポートや経済産業省のJAPANブランド育成支援などをいただき、2017年4月に初出展という形で果たすことができました。



初回のテーマは「FLOWER/METAL」とし、特徴的な花器を12作品展示しました。自分たちが想像していた以上に高い評価をいただき、海外のメディアからも多数取り上げていただきました。

翌年の2018年のテーマは「REFLECTION SHADOW」で反射と影を表現したホームアクセサリーを出展しました。



そして3年目の今年のテーマは「IKIMONO」とし、自然エネルギーを表現したアートピースとそれらを日常品に落とし込んだプロダクトを出展しました。



今年の11月には凱旋展示としてミラノサローネに3年間出展したすべての作品を一堂に会し、東京・六本木でYMVとして日本で初めて大々的な展示を行い、多くの方にご来場いただきました。



今後は製品の改良そして販売にも注力しながら、さまざまな分野の方々とも連携をしてチャレンジな取組みを続けていきたいと思えます。

作品はこちらから→

YMV

検索

大切な方へ…Only One の贈り物を



共同写真株式会社は、複写／プリント／電子化のエキスパートとして長年、某エンジニアリング会社様と共に歩んでまいりました。

図書作成の事ならどんなことでも。お客様と共に作り上げていく自信と実績があります。

また、新たな業務として成形物（立体物）にUVインクで印字できる機械を導入しサービスを行っております。

【これまでに作成した物の一例】

- シグソープズルに！
(お孫様・ペットのお写真、結婚式の記念に)
- キャンバスに！
(ご家族のお写真、好きなデザインで)
- ボールペンやシャープペンに！
(個人名を印字して大切な方への贈り物として) (企業名を入れてノベルティに)
- その他 ゴルフボール、千社札、ウェルカムボード…等 色々な素材に。

お名前入りで Only One



思い出の1枚を



入園、入学のお祝いに



※一部印字してもはがれてしまう材質もあります。まずはご相談ください！

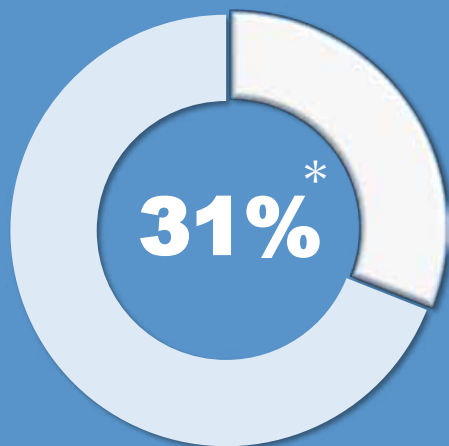


共同写真株式会社

〒220-6001 横浜市西区みなとみらい 2-3-1

TEL 045-682-8969 FAX 045-682-8970

約 3 人に 1 人



* 50人以上100人未満の事業場で3年間にメンタルヘルス不調により1か月以上休業・退職した労働者がいた事業場の割合
出典 愛知県労働局「メンタルヘルス対策の実態調査結果」

使用者責任とは Employer's Liability

2008年施行された労働契約法第5条により『安全配慮義務』が明文化



労災事故が発生すると
使用者責任を問われる可能性があります。



損保ジャパン日本興亜では使用者責任に対応する保険商品をご用意しております。対応商品のパンフレット（一部）は記載のQRコードでもご確認いただけます。詳しい内容・ご相談につきましては下記連絡先までご連絡ください。



損害保険ジャパン日本興亜株式会社

TEL 045-661-2664
FAX 045-201-1847

〒231-8422

横浜市中区本町2-12

損保ジャパン日本興亜横浜ビル6F 横浜支社

ハマふれんど

横浜市が実施する
市内中小企業向けの
福利厚生サービス

横浜市内の「**4,500 事業所**」が加入中！ **便利でお得**なサービス満載！

健康経営やワーク・ライフ・バランスの充実を
サポートする豊富なサービスを用意しています。



ハマふれんどオリジナル利用ランキング

- 1 切取り補助券サービス**
(レジャー施設・日帰り温泉・プール・ピアガーデン・ホテルビューフェ・いちご狩り等)
- 2 各種チケット割引**
(横浜 DeNA ベイスターズ・横浜 F・マリノス・公演やコンサート等チケット割引幹旋)
- 3 宿泊補助**
(年間 10,000 円分の宿泊費補助)
- 4 東京ディズニーランド® 各種企画**
(パークチケット補助等)
- 5 人間ドック補助**
(本人と配偶者年間 10,000 円補助)

Bs ベネフィット・ステーション利用ランキング

- 1 フィットネスクラブ割引**
(全年代で利用上位!月会費以外に、都度利用も安く使えるのが魅力! 全国対応)
- 2 レジャー・エンタメ割引**
(全国の映画館・カラオケ・遊園地や動物園等のレジャー施設の割引)
- 3 リラクゼーション割引**
(全国の日帰り温泉、リラクサロンの割引)
- 4 グルメ割引**
(全国展開の飲食店・レストランの割引)
- 5 育児補助**
(ベビーシッターなどの一時保育に月最大 9,000 円補助)

※ハマふれんどの会員様は、総合福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」もご利用いただけます。

ひとり月々500円^(事業主負担)で充実した福利厚生サービスをご提供します!

掛金(会費)は損金(必要経費)として全額計上できます。
※一部認められない場合がありますので、詳細は、税務署へご確認ください。

※加入は、横浜市内にある従業員 300 人以下の事業所(企業・商店)単位です。
※一部利用数・期間等が限定されているサービスもあります。

この広告に記載の内容は令和元年12月現在のものであり、予告無く変更する場合があります。

資料請求・ご質問はこちらまで。お気軽にご連絡ください。

横浜市勤労者福祉共済 ハマふれんど 〒231-8575 横浜市中区万代町 2-4-7 横浜市技能文化会館 5F

☎ **045-662-4435** 受付時間
平日 8:45~17:15

PC・スマホサイトで
サービス内容をご覧いただけます。
資料請求もできます。

<https://www.hamafriend.jp>
ハマふれ 検索